

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		わかば第1学童クラブ				
公表日 2025年 7月 25日						
		チェック項目	(はい)	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13		・ホール内での活動中など、スペース的には十分。個室の利用含め工夫しつつ活動できている。 ・子どもと1対1の見守り体制に加え、チーム全体で見守る体制が工夫されている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	12	1	・手厚い支援を行える配置になっていると思う。外出時等も安全に活動できるようスタッフに要請を出すこともあり、適切であると思う。 ・インフルエンザ等が流行し、欠席の子どもが多い時などは、事前に配置数の工夫をしている。 ・イレギュラーがあっても体制を工夫している。	・曜日によって固定のスタッフに負担が大きくなる場合がある ・ちょっとスタッフが多い時がある (子どもの急な休みがあることも影響)
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	2	・おもちゃ棚に写真を貼ったり、ロッカーを固定してわかりやすくできている。	・老朽化に伴い扉など定期的に修繕が必要。 ・予定などももう少し目で見えてわかるようにできれば尚良い。 ・シフトの関係で情報伝達が漏れてしまうことがある ・クールダウンのための部屋が寒く狭い
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		・活動の前後で清掃している ・床に物が置いたままにならないよう片づけている	・おもちゃの消毒もしているが、もっと念入りにしたい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13		・体調面、メンタル面の様子に応じて使用できている。 ・個別の部屋がないので相談室などを使っている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	4		・年度末の会議等で行えていると思うが、パートスタッフには周知していない ・振り返りが出来ていない
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	2	・評価表を配布して行えている	・評価表の内容を改善につなげているかはわからない。 ・保護者の意向を把握しきれていない。対応の難しい意向に困惑
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	2	・職員は職員会議、アルバイトはアルバイト会議を月1で行い、そこで出た意見を基に改善しようとしている	・全体の意見が統一されていない
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	3		・第三者による外部評価をしているのか知らない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13		・学童内での研修や法人研修を行っている。 ・研修は定期的に行っている	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	2	・支援方針を会議で決め、作成・周知が出来ている。	・わからない
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	1	・日々の記録から現状の子どもの様子、成長に応じて会議で計画を作成している。	・パートには下りてこないのかわからない。 支援計画はあるが抽象的。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13		・職員全員で子どもの様子を話し、検討できている	・毎月会議はしているが、成果があるとは思えない。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	3	・職員にわかる場所にファイルされている。	・パートがもう少ししっかり確認する必要がある ・計画に沿っている支援であるのか、よくわからない
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	2		・アセスメントの使用があるのかわからない
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	2	・本人支援を重点的にしつつ、家族、地域（学校含め）支援内容を設定できていると思う。	・具体的なものがない ・どのように連携がとれているのかわからない
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	2	・日常的なプログラムはリーダーメインで行っているが、どのような活動がやりたいか皆で検討している。 ・チーム支援をしようとはしている	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	3	定期的な会議などでマンネリ化していないか検討できている。 ・子どもの変化に合わせつつ工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	1	・個別、個人での目標、集団の目標を子どもに応じて作成、支援できている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	2	・毎日のミーティングを行い、その日の子どもの様子、活動等をしっかり確認できている。	・確認漏れがないよう工夫が必要 ・役割分担はないように思う
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	4	・長期休み（春・夏・冬休み）間は終了後のミーティングを行っている。	・終了後は記録・送迎など勤務時間内に出来ることは限られているので、長期保育以外は打合せできていない。 ・個々ではあるが全体では少ない ・支援前にはしているが支援後は送りや他の業務があり時間的に困難
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13		・支援後に記録を取っている。難しい時は後日しっかり記入する時間もある。子どもの様子を知りたい時は読み返すなどしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11	2		・わからない
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13		・表現が難しい子も選択できるよう、写真、イラスト、指さしを使用するなど、状況に応じて支援できている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	2		・詳しくはわからない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13			・時々連絡漏れ、ミスがあるので、全員での確認、二重三重のチェックも必要。 ・発熱時等、保護者と連絡が取れない時がある
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	1		・知れる立場でないのかわかりません
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	13			・法人内であれば連携がとりやすいがそれ以外だとなかなか難しい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	4		・知れる立場でないのかわかりません
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	11	2	・公園やお出かけ、散歩の際、地域の子がいたら、声をかけたり一緒に遊べるよう工夫している。 ・地域の学校の授業の一環としてキャラバンを（法人として）出動しています。	・あまりない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	12	1		・参加していると思うがわからない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13		・送迎、お迎えの際や保護者会、面談で必要なことを伝えあっている。	・保護者による
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	2		・全員参加はないので、複数回できるとよい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12		・入所時などにやっている	・わからない ・主に職員が行っている ・その立場でないのかわかりません
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		・面談の時にきちんと聞き取りできている	・わからない
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13			・わからない

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		・支援の中での気づき等を積極的に共有し、家族との連携を図る場合もある。	・わからない
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	13		・長期保育などで家族参加のイベントを設けている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11	2		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12	1		・もう少し整理が必要。施錠もしっかりと
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	3	・主に法人で	・家族と合同の避難訓練など行えるとよい
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13		・子どもたちとは行えている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	3		・安全管理はしているが、同じヒヤリハットが多いように思う
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	2		・家族に連絡が取れない時が多いように思える
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	1		・検討をみんなできていない
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	1		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12	1		